

藤沢市地球温暖化対策実行計画の進行管理について

(1) 令和5年度実績報告

目標達成率の算出方法について

- ①(B2021実績-A現状値2018)/(C目標年度2030-A現状値2018)
②(Y2023実績-X現状値2020)/(Z目標年度2030-X現状値2020)

- 【評価例】A: 前年実績を上回り、現状値以降は順調に推移。目標値をクリア
B: 前年実績を上回り、現状値以降は前進。目標値クリアに近づく
C: 前年実績と同様で、現状値以降は前進
D: 前年実績を下回り、現状値以降後退

資料5
2024年8月27日
藤沢市環境審議会 議題1

- ① B-A/C-A
② Y-X/Z-X

	指標項目	担当課 (単位)	目指す 方向性	2018	2019	2020	2021	2022	2023	評価	2030 目標年度	目標達成率
				H30 現状値 1,731 対前年 削減	R1 1,698 1,707 △ 24	R2 1,666 1,942 + 235	R3 1,633 1,577 △ 365	R4 1,601	R5 1,568 —		1,340	
基本方針1	家庭部門における一人当たりの電力使用量	環境総務課	目標実績	削減	1,731 対前年 削減	1,698 1,707 △ 24	1,666 1,942 + 235	1,633 1,577 △ 365	1,601	1,568 —	A 前年より大きく前進し、目標値をクリア	1,340
	業務その他部門における延床面積1㎡当たりのエネルギー使用量	環境総務課	目標実績	削減	1,895 対前年 削減	1,903 + 8	1,758 △ 145	1,838 + 80	1,622	1,554 —	C 前年より大きく後退したが、現状値以降は前進	1,077
	「藤沢市環境保全職員率先実行計画」における温室効果ガス排出量(2013年度(平成25年度)排出量:52,288t-CO2)	環境総務課	目標実績	削減	— 対前年 削減	—	39,671 + 1,675	41,346 △ 662	36,380 △ 4,470	34,735 + 1,479	B 前年より大きく前進し、目標値クリアに近づく	23,216
基本方針2	太陽光発電システム補助件数(累計)	環境総務課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	2,767 + 108	2,875 + 79	2,954 + 76	3,030 △ 142	C 前年同様の実績。件数の伸びが鈍化し目標値との乖離が拡大	4,117
	太陽光発電システム補助による導入容量(累計)	環境総務課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	10,889 + 493	11,382 + 396	11,778 + 393	12,485 △ 314	C 前年同様の実績。導入量の伸びが鈍化し目標値との乖離が拡大	16,208
	再生可能エネルギー導入容量(累計)	環境総務課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	48,141 + 2,198	50,339 + 2,788	53,127 —	68,275 公表前	— 【環境省】「自治体排出量データ」の公表前	115,254
基本方針3	自転車専用通行帯の整備距離(累計) ※1	道路整備課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	3.60 + 0.77	4.37 + 0	4.37 + 0	4.37 + 0	C 目標値の更新により達成率が後退	19.30
	市域の緑地確保 ※2	みどり保全課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	25.1 + 0	25.1 △ 0.1	25.0 —	集計中 —	— 現在集計中	29.0
	市民一人当たりの都市公園の面積 ※2	公園課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	5.33 △ 0.03	5.30 + 0.04	5.34 + 0.07	5.41 —	B 人口が増加するなか前年より前進	9.00
	有機農業の取組面積	農業水産課	目標実績	増加	— 対前年 増加	—	19.7 + 3.7	23.4 + 2.1	25.5 + 2.1	30.2 △ 3.3	B 前年より大きく前進	81.8
基本方針4	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量 ※3	環境総務課	目標実績	削減	— 対前年 削減	646 —	654 —	631 △ 23	611 △ 20	583 △ 28	A 前年より大きく前進し、目標を達成	612
	一般廃棄物の資源化率 ※3	環境総務課	目標実績	増加	— 対前年 増加	32.3 —	33.7 —	33.2 △ 0.5	32.4 △ 0.8	32.7 + 0.3	B 前年より前進、目標値に近づく	35.0
	灰溶融等資源化を除いた一般廃棄物の資源化率 ※3	環境総務課	目標実績	増加	— 対前年 増加	24.2 —	25.8 —	25.3 △ 0.5	24.6 △ 0.7	24.5 △ 0.1	C 前年同様の実績、直接資源の排出量減少により資源化率が低下	25.0

※1 自転車専用通行帯の整備距離について、2020年の現状値3.60kmに「ふじさわサイクルプラン(実施計画)R5.4月改定」期間中に整備予定の15.70kmを加えた19.30kmを2030年度の目標値とした。

※2 緑の基本計画(計画年度2000～2030年度)において10年ごとの目標値を定めており、2030年度目標値は同計画と同じとした。

※3 藤沢市一般廃棄物処理基本計画(2022～2031年度)では、2019年度を基準年度として2031年度の目標値を定めている。2030年度目標値は同計画の2031年度目標と同じとした。上表の目標達成率の計算式は2019年度を基準年(現状値)として算出。

温室効果ガス 排出量 (2021年度速報値)	部門 (単位:千t-CO2)	2013 (基準年度)	2018 (計画策定時)	2019 R1	2020 R2	2021 R3	評価	2030 目標年度	基準年度比
		943	828	822	808	834		526	
二酸化炭素	産業部門	835	633	628	574	615	2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、【産業部門】や【その他部門】では、需要の低迷や、施設や機物の稼働率低下等により排出量が共に減少する一方で、【家庭部門】では、テレワークや巣ごもりなど家庭で過ごす時間が増えたことから排出量は増加しました。 2021年度は「まん延防止等重点措置」への移行など日常を取り戻し、【産業部門】【業務その他部門】は、経済活動が回復し増加に転じた反面【家庭部門】は減少。【運輸部門】は、宅配サービスの利用増加の影響が平均燃費の改善効果等を抑え結果として微減となりました。 全体では、新型コロナウイルスの影響があるものの、省エネ対策や、クリーンエネルギーへの転換が進んでおり、排出量は減少傾向にあります。	371	-26.3%
	業務その他部門	565	494	510	527	482		265	-14.7%
	家庭部門	404	378	365	335	332		307	-17.8%
	運輸部門	30	38	42	35	42		34	41.3%
	廃棄物部門	2,777	2,371	2,368	2,279	2,305		1,502	-17.0%
メタン	小計	1	1	1	1	1	全体では、新型コロナウイルスの影響があるものの、省エネ対策や、クリーンエネルギーへの転換が進んでおり、排出量は減少傾向にあります。	1	-0.3%
	一酸化二窒素	5	5	5	4	5		5	-1.6%
合計		2,783	2,377	2,375	2,285	2,311		1,508	-17.0%
		基準年度との差		△ 406	△ 408	△ 498	△ 472		
		基準年度比		-14.6%	-14.7%	-17.9%	-17.0%		

※ 端数処理により合計等と一致しない場合があります